

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年5月6日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況 (暫定値) (令和7年数値は1月1日からの同期間数値)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	65	13	0	19	43	75
令和7年	80	17	1	39	37	94
前年同期比	-15	-4	-1	-20	6	-19

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	3	4.6%	0	0	2	1	3
	後立山	24	36.9%	9	0	5	15	29
	その他	3	4.6%	0	0	3	1	4
計	30	46.2%	9	0	10	17	36	
中央アルプス	6	9.2%	0	0	0	7	7	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	11	16.9%	3	0	3	7	13	
その他の山岳	18	27.7%	1	0	6	12	19	
計	65		13	0	19	43	75	

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	15	23.1%	2	0	14	0	16
転倒	3	4.6%	0	0	3	0	3
病気	6	9.2%	3	0	0	3	6
道迷い	13	20.0%	0	0	0	17	17
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	4.6%	2	0	1	0	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	9.2%	2	0	0	4	6
不明・他	19	29.2%	4	0	1	19	24
計	65		13	0	19	43	75

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5	23	0	0	0	2	2	9	7	32
20代	1	0	2	11	14		0	0	0	4	4		18	
30代	1	0	0	3	4	42.6%	1	0	0	2	3	42.9%	7	42.7%
40代	4	0	4	2	10	21	0	0	1	0	1	8	11	29
50代	4	0	2	5	11	38.9%	0	0	3	4	7	38.1%	18	38.7%
60代	1	0	3	4	8	10	1	0	2	0	3	4	11	14
70以上	0	0	2	0	2	18.5%	0	0	0	1	1	19.0%	3	18.7%
計	11	0	13	30	54		2	0	6	13	21		75	
比率	72.0%						28.0%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (4/27~5/6)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
行方不明者の発見	北アルプス 八方沢	女	33	死亡	雪崩	2人パーティで八方沢をスキーで滑走中、雪崩に巻き込まれ、行方不明となっていたもの(1/2認知)。4/28遺体で発見。
4月29日	小川山	男	42	負傷	転落	3人パーティでロッククライミング中に、転落、負傷
4月30日	上高井郡高山村 大字牧地籍の山林内	男	71	負傷	滑落	2人パーティで山菜採り中に、滑落、負傷
5月2日	北アルプス 白馬大雪渓	男	58	死亡	不明	単独で大雪渓を登山中、何らかの原因で、行動不能
5月2日	戸隠山	女	57	無事救出	道迷い	単独で八方峯に向けて登山中、道に迷い、行動不能
5月3日	北アルプス 奥穂高岳	男	71	負傷	滑落	単独で奥穂高岳山頂から下山中、強風により、バランスを崩し滑落、負傷
						上記遭難現場写真
5月4日	北アルプス 白馬岳	男	50	死亡	凍死傷	3人パーティで登山中、吹雪により、行動不能
5月5日	霧ヶ峰	男	59	負傷	転倒	3人パーティで登山中、木の根に足を挟んで、転倒、負傷
5月5日	北アルプス 白馬乗鞍岳	男	47	無事救出	疲労	単独で白馬乗鞍岳を登山中、山頂付近で疲労により、行動不能
5月5日	北アルプス 霞沢岳	男	68	無事救出	道迷い	単独で霞沢岳から徳本峠に向けて下山中、道に迷い、行動不能
5月6日	北アルプス 赤岳 (硫黄尾根)	男	49	負傷	滑落	2人パーティで赤岳(硫黄尾根)をロープをつないで登山中、女性が雪に足を滑らせ滑落し、男性もともに滑落、負傷
5月6日		女	50	負傷	滑落	
						上記遭難現場写真

先週県内では、10件の山岳遭難が発生しました。

大型連休期間と重なり、悪天候時による行動不能遭難、単独での道迷い遭難、雪上での滑落による遭難が多発しました。

北アルプス等の高山は、ひとたび天候が悪化すれば、気温が急激に低下し、吹雪となり、冬山と変わりありません。

装備で迷う方も多いかもかもしれませんが、冬山装備を軸に、適切な装備選択と悪天候時の撤退判断をお願いします。

道迷い遭難では、単独登山者の割合が高いです。

不安を感じたり、間違いに気が付いた場合は、そのまま突き進まず、必ず立ち止まり、まずは落ち着いて、手元の紙地図と、スマートフォンの登山地図アプリなどで、自身の位置を確認してください。

特に単独登山は、トラブル発生時のリスクが非常に高い登山形態であることを十分認識し、定期的に現在位置を確認するなど、より慎重な行動をお願いします。